

# ガバナー一月信



## 月信12月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 2023-24 年度地区大会
- ③ ライラ研修
- ④ 第7分区 IM
- ⑤ 2024-25 年度青少年交換長期派遣学生選考試験
- ⑥ 2023 米山記念奨学委員会報告
- ⑦ 米山記念奨学生学友会総会
- ⑧ 県北部豪雨災害支援金の報告
- ⑨ 地区研修委員会
- ⑩ 財団委員会通信
- ⑪ 地区主要行事予定 (12月・1月)
- ⑫ 新入会員紹介・訃報
- ⑬ コーディネーターニュース
- ⑭ ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区  
2023-24 年度

## 米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574  
ホテルイタリア軒 B1  
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



## ガバナーメッセージ 「地区大会を終えて」

2023-24 年度 ガバナー

米山 忠俊 (三条北 RC)

皆様の御支援、御協力のおかげをもちまして、11月4、5日に第2560地区の地区大会を無事に開催することができました。心から感謝し、お礼申し上げます。

地区大会は地区のロータリアンが同じ思いを共有するための大切なイベントです。当地区の現状の課題は一言で言えるほど単純なものではありませんが、当日行われました各種講演や地区内外のメンバーとの親睦によって解決の糸口がつかめた方々もきっといらっしゃると思います。その知見を、ぜひ今後のロータリー活動に活かして頂ければと思います。

さて、今回の地区大会においてとても評判がよかったのが、ロータリー親睦交流会にて行われました佐藤ひらりさんのアトラクションコンサートでした。佐藤ひらりさんは、武蔵野音楽大学の音楽学部音楽総合学科作曲コースに在学中の三条出身のシンガーソングライターであり、2020東京パラリンピックでの国家独唱をなさった全盲の歌手としてご存じの方も多いのではないのでしょうか。日本のスティービー・ワンダーを目指しているそうで、生まれつき目が見えないというハンディの中で音楽という才能を必死に伸ばし続けた彼女にも、彼女のご両親にも頭が下がる思いでいっぱいです。

すべての多様性を受け入れ、すべての人を応援し続ける。そういった理念を持ち続けることが、ロータリーの本質であると、ひらりさんの演奏を聴きながら、深く考えさせられました。

最後に、今年一年のご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、良いお年をお迎えくださいますようお願い申し上げます。







## 第 2560 地区 2023-24 年度 地区大会

地区大会実行委員長

**金子 太一郎** (三条北 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2023-24 年度地区大会が、11 月 4 日 燕三条ワシントンホテルで「地区指導者育成セミナーと RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」、5 日 燕三条地場産業センターにて「本会議とロータリー親睦交流会」が開催されました。また、参加できなかった会員向けにオンラインで配信いたしました。

4 年ぶりにフルスペックで開催しました地区大会ですが、RI 会長代理・東京銀座 RC の福原有一様、三条市長・滝沢亮様、三条商工会議所会頭・兼古耕一様をはじめ、700 名弱を迎え開催しました。

今回の地区大会のテーマを「笑いと学び、そして感動！」としました。ここでたくさん笑って、ロータリーのことをよく学んで、そして交流を深めて感動していただけるよう企画しました。

午後の記念講演では、ラジオパーソナリティの三条市出身の関田将人さんとお笑いのチカコホンマさんから、新潟の魅力をお話してもらいます。関田将人さまは、三条市の PR 大使見習ということなので、三条市と新潟県内の魅力を披露していただきました。

また、アトラクションでは、パラリンピックで国家独唱した三条市出身の佐藤ひらりさんの歌声を聞いていただきました。

懇親会では、三条の料理屋さんが結集して真心を込めて作りました料理を堪能していただきました。三条市内の 4 つのロータリーが結集して皆様をおもてなしいたしました。











## 第 22 回ライラ研修開催報告

ライラ委員会  
委員長

高木 豊隆 (新潟西 RC)

2023年10月21日(土)に第2560地区の第22回ライラ研修会が行われました。研修テーマ「県民性をテーマに郷土愛を醸成し郷土の人物に対する知識を深め、活躍できるリーダー像を学ぶ、自分の可能性を発見し行動へと繋げる方法を学ぶ」テーマに相応しいお二方にご講演いただきました。

午前は新潟青陵大学特任教授伊藤充先生より、新潟県の県民性と人物史と題しての基調講演いただきまして、人物史上杉謙信と県民性など道徳性に大きな影響をと、新潟人の気質をよく考えさせられる講演でした。

午後からは私の水泳仲間シドニーオリンピック銀メダリスト中村真衣さんの特別講演「人生山あり谷あり」オリンピックメダルへの厳しい道のりで涙ぐむ場面もありました。懇親会では真衣さんが銀メダルを持って来られ、研修生の皆様がメダルに触れたり首にぶら下げてもらい、真衣さんとの撮影で喜ぶ笑顔がとても印象的でした。

一日開催ではございましたが有意義な研修会だったと思います。参加された研修生、ロータリアンの皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。





## 第7分区IMの開催を終えて

第7分区ガバナー補佐

**前川 秀樹** (直江津 RC)

2023年10月28日、直江津駅前の2つのホテルを会場として第7分区のIMを直江津RC金森直前会長を実行委員長として開催いたしました。

記念講演は元全日本女子テニス監督の吉田友佳さんをお迎えしました。吉田さんをお迎えした理由ですが、昨年の全日本テニス選手権の女子で直江津出身の坂詰姫野選手が優勝しました。地元出身で世界を目指してる若者を紹介し、応援をしたいと思いから、坂詰選手のコーチの吉田さんをお願いをしました。1週間ほど前になって坂詰選手の都合もついたとの事で一緒に参加してくれ、記念事業としても上越市内中学校ソフトテニス部への練習球60ダースを寄贈させていただきました。

アトラクションでは同じく地元出身で、バイオリンで上を目指し、高校から桐朋学園で学んでる大学生の直江津ロータリアンの娘さんに演奏をお願いし、余興で正月にTVで見るようなバイオリンの値段当てもやってくれ、笑いもありながら楽しみました。第7分区7クラブより150名程の方が集まっていたと、分区内の友和も図れたと感じています。

11月10日の糸魚川中央ロータリークラブの公式訪問も終了し、ガバナー補佐の仕事も終盤になり、7分区各クラブの皆様にご挨拶申し上げます。











## 2024-25 年度 長期派遣学生選考試験報告

青少年交換委員会  
委員長

坂上 彰平 (豊栄 RC)

11月11日午後2時から長期派遣学生選考試験をホテルオークラ新潟で行いました。

2024-25年度長期派遣試験には4名の応募がありました。

開会に際して米山ガバナーから「皆さん、青少年交換長期派遣のプログラムに応募して頂きありがとうございます。日頃勉強をしている事を発揮出来ます様に頑張ってください。」とご挨拶をいただきました。

試験説明を行い、試験を開始いたしました。今回は時間の都合上、学生を2グループに分け、学科試験と面接試験を別席にて並行して行いました。英会話を含んだ学科試験を採用し、どの程度英語対応できるのかも一緒に確認させていただきました。どの学生も今ある英語能力を発揮できたようです。

また、受験学生には「今の自分そして将来の夢」を題材とした作文を選考試験前に提出してもらいました。どの学生も自分の苦手なところを把握していて、それを克服する努力をしているものでした。また、将来自分自身がこうなりたいと明確な目標を持った学生もあり、素晴らしい作文だと思いました。

次回のオリエンテーションから、具体的な準備へと移っていきます。楽しみに待ちたいと思います。





## 2023 米山記念奨学委員会報告

米山記念奨学委員会

委員長

**渡邊 嘉子** (新津中央 RC)

日頃よりロータリアンの皆様には米山記念奨学事業にご理解とご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

10月は米山月間ということもあり米山委員長セミナーをはじめ各クラブ卓話を行い、米山記念奨学事業を少しでもご理解いただけるよう活動して参りました。

そして11月4・5日に開催された地区大会では、米山奨学生と共に寄付活動をさせていただきました。奨学生にとりましても地区内のロータリアンの皆様と交流できたのは大変な喜びであり、また貴重な体験をさせていただいたことに感謝をしておりました。ありがとうございました。

皆様からの心のこもったご寄付は、

地区大会→1日目、11月4日(土) 103,545円

→2日目、11月5日(日) 166,990円 合計270,535円となり

第2560地区 地区大会記念寄付金として米山記念奨学会へ送金いたしました。ありがとうございました。

また、11月11日(土)には米山記念奨学生学友会総会が開催され、当日は初参加の学友や今期から(10月から)の新理事体制になって初の活動となり、今後の活動等の発表もあり楽しく和やかな総会・親睦会となりました。

今後の活動予定といたしまして、

2023年

- ・11月25日(土) 2024学年度米山記念奨学生面接委員オリエンテーション
- ・11月25日(土) 財団・米山感謝の集い午餐会(米山奨学生がアトラクションの楽器演奏を担当)
- ・12月23日(土) クリスマス会(学友会活動)
- ・12月23日(土) 2024学年度米山記念奨学生 書類選考



2024年

- ・1月13日(土) 2024学年度米山記念奨学生 面接・選考会
- ・2月3日(土) 第2回米山記念奨学委員長セミナー
- ・3月2日(土) 米山記念奨学生終了式・歓送会、を予定しております。

世話クラブ・カウンセラーの皆様はじめロータリアンの皆様のご協力よろしくお願いたします。

米山記念奨学委員会は今年度はもちろん、次年度へ向けても活動が始まっております。

選考会ではロータリアンの皆様からの浄財を、将来母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍するような優秀な学生を選考すべく面接委員一同気を引き締めて参ります。

今後とも米山記念奨学事業にご理解とご協力をよろしくお願いたします。





## 2023-24 年度 米山記念奨学生学友会総会

学友会理事会  
幹事  
扎蘇那

2023年11月11日(土)に、国際ロータリー第2560地区米山記念奨学生学友会総会がホテルオークラで開催され、米山奨学生や学友・ロータリアンを合わせ約60名が参加しました。

総会では、米山ガバナー、学友会副会長レ・コン・ダットさんと米山記念奨学委員長の渡邊さんよりご挨拶をいただき、学友会より昨年度の活動報告を行いました。親睦会では、米山奨学生に近況報告をしていただいた後、理事会が企画したビンゴゲームとクイズ大会等のアトラクションで大いに盛り上がりました。たくさんの景品をご用意してくださった学友と委員会の方々に心より感謝申し上げます。

学友会理事会新体制は10月に結成されました。総会をスタートに、奨学生とロータリアンの親睦を深めるための活動を展開し、当地区の学友会を盛り上げていきたいと考えております。日頃から学友会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。







## 災害支援報告と御礼

パストガバナー

佐藤 真 (村上岩船 RC)

2022年8月に村上市・関川村を襲った「新潟県北部豪雨災害」に際しまして、地区内のロータリアンの皆さまより2,373,000円という多額の災害支援金をお寄せいただき誠にありがとうございました。全ての支援金を有効活用させていただきましたのでご報告いたします。

特に被害が多かった村上市荒川地区と神林地区では、村上 RC・中条胎内 RC・村上岩船 RC のロータリアンが、自ら被災しながらも地域のためボランティア活動に携わり、物資等の届かない災害発生初期段階で、被災者のニーズに応えるべく迅速かつ繊細な対応を行いました。また、第一分区の他クラブの皆さまも飲料水配布等にご尽力いただきありがとうございました。そして、ボランティアに駆けつけていただいた他分区のロータリアンにもあらためて感謝を申し上げます。

災害支援金の内400,000円は、高橋秀樹直前ガバナーの計らいにより、即刻中条胎内 RC・村上岩船 RC に送金され、その一部は緊急を要する衛生備品として消石灰や被災者およびボランティアの方々用のタオル購入に充てさせていただきました。

残りの1,973,000円は、高橋秀樹直前ガバナーから「災害復興は長期間を要するので、将来的なタイミングを見計らって有効活用して下さい。」と託されました。自身を含め多くの被災メンバーが在籍する村上 RC 佐藤正志会長、中条胎内 RC 磯辺由美子直前会長、村上岩船 RC 石田佐開会長と共に、災害発生から一年の節目に向けて活用方法を協議することにしました。また、それぞれのクラブから9,000円の支援金を追加し総額2,000,000円としました。

災害発生一年を経過し、地元3ロータリークラブの総意のもと、今回の豪雨災害で最大の被害に遭い、一年以上の避難生活を強いられた神林地区小岩内集落の方々に対する避難指示解除後の帰宅費用として、そして水害により室内遊具を全て奪われてしまった、あらかわ保育園と保内学童保育所への支援として、準備に取り掛かりました。

### 【小岩内集落災害支援金寄贈】

豪雨災害から一年余り、2023年10月1日に待望の小岩内集落の避難指示解除が決まりました。これにより避難住宅で生活していた住民は、2023年10月31日までに避難住宅から退去しなければならなくなりました。10月3日私と村上・中条胎内・村上岩船 RC の7名は避難住宅集会所において、松本区長をはじめとする区役員の皆さまに「これからの復興の一助としてお役立てください」

と 1,500,000 円を寄贈させていただきました。松本区長からは感謝のお言葉をいただきました。



**【あらかわ保育園室内遊具寄贈】**

豪雨災害により床上浸水 21cm の被害を受けたあらかわ保育園は、保育園としての機能を果たせず 2023 年 6 月 5 日までの 10 ヶ月間、園児たちは市内の他保育園で離ればなれにならざるを得ませんでした。また、施設は復旧したものの室内遊具までは手が回らず、園児たちは我慢を強いられました。この話を聞き私たちは施設の希望に応えるべく 2023 年 10 月 18 日に 11 種類 18 個の室内遊具 (450,000 円) を寄贈しました。贈呈式では園児たちにとっても喜ばれ、高橋園長さんからは「当事者になり支援の有難みや温かみを実感している。水害後は職員のメンタル面など大変なこともあったが、「また頑張ろう」と前向きな気持ちになる。」と大変感謝されました。

**【保内学童保育所室内遊具寄贈】**

保内学童保育所は床上浸水 90cm とかなりの被害を受け、2023 年 5 月 29 日まで閉所となりました。その間、児童たちは近くの小学校の空き教室を利用し不便を強いられてきました。また、あらかわ保育園と同じく室内遊具は水害により使えなくなり、児童たちの活動は制限されていました。私たちはあらかわ保育園の次に学童保育所を訪れ、10 種類 14 個の室内遊具 (50,000 円) を寄贈しました。皆さん大喜びで大騒ぎでした。私たちも子供たちの笑顔に癒され素敵な一日を過ごさせていただきました。









## 南雲年度クラブ会長幹事 研修のご案内

地区研修委員会 副委員長  
研修委員会 運営小委員会 委員長

**阿部 修靖** (長岡 RC)

地区研修委員会 副委員長  
地区研修委員会 研修小委員会 委員長

**関川 博** (三条 RC)

地区研修委員会では「南雲年度ガバナー補佐研修」をパート1は座学、パート2はディスカッション及び模擬クラブ協議会と2回にわたり実施して参りました。

国際ロータリーの最近の動向を鑑みますと、地区におけるガバナー補佐の役割が徐々に変化してきております。ガバナー補佐は各分区の統括はもちろんの事、ガバナーと各クラブを架け橋であり、地区委員会と各クラブの架け橋という役割が重視されてきています。災害時においても情報収集や現状把握、各クラブの連携コーディネートなど果たすべき役割が期待されております。また地区リーダーシッププラン (DLP) でガバナー補佐は、各クラブの長期的発展、54クラブの奉仕活動活性化を支えつつ、ガバナーが自らの責務に専念できるように補佐する事が求められています。2回にわたる「ガバナー補佐研修」を通じて南雲年度ガバナー補佐の皆様は意欲的に学ばれ、十分ご理解いただいたと研修後のアンケートからも伺う事ができました。それをうけて南雲博文ガバナーエレクトは現在12月の第1回地区運営会議に向けて体制を整えておられます。

このように地区の体制は徐々に整ってきていますが、ロータリー奉仕活動の中心はあくまで各クラブです。そこで地区研修委員会としては、南雲年度会長・幹事を対象に研修を企画しております。それが12月9日に予定される「クラブ会長幹事研修」です。初めて会長・幹事の重責を担うロータリアンにはクラブ活性化のための考え方を、再びクラブ会長・幹事担う方には国際ロータリーの動向などをお伝えする機会になるかと思えます。カリキュラムの一端をご紹介しますと、クラブ目標のイメージ/ガバナー補佐との協力/年間スケジュール概要の理解/元気なクラブづくりのヒント/クラブ会長の心得などを予定しております。各クラブの総会が開催される時期の研修となりますが、次年度のクラブ体制が整う中での学びは有要なものとなる事を確信しております。

この研修においてクラブ会長には自らの会長年度の目標達成、活性化のヒントを得て頂き、来る3月9日に開催予定の「南雲年度 PETS」では、「国際協議会」で RI 会長メッセージを直接聞いて来られた南雲ガバナーエレクトが、RI 会長メッセージを南雲年度クラブ会長に伝え、自らの地区運営方針を伝える事になります。是非自らのクラブ会長年度が素晴らしいものとなり、その会長年度の経験が生涯の宝物となりますよう、奮って研修にいらして頂ければ幸甚です。





# 「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信



## 地区大会におけるポリオ根絶活動支援への御礼

11月4、5日に開催された、国際ロータリー第2560地区2023-24年度地区大会において、ポリオ根絶活動のご理解ご協力を目的にポスター展示と募金のお願いをしたところ、多くの方から関心を寄せていただきご寄付を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

当日皆様からお預かりしたご寄付139,006円は、11月6日に地区からポリオ根絶寄付として送金させていただきました。

1988年当時世界125ヶ国で35万件を超える新規症例が報告された野生型ポリオも、皆様のご理解ご支援を得て活動を続けてきた結果、2023年現在常在国はアフガニスタンとパキスタンの2ヶ国を残すのみとなり新規症例報告も10例（11/1現在）となりました。

ロータリークラブが世界の子どもたちと約束したポリオのない世界まで「あと少し!」、これからも皆様方のご理解ご支援を希望と勇気に変え活動を続けてまいりますので宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



国際ロータリー第2560地区

財団委員会 委員長 佐藤 真（村上岩船RC）

寄付・資金・ポリオプラス委員会 一同



## 地域財団セミナー参加報告

開催日：2023年11月19日(日)

会場：神戸ポートピアホテル



このたび国際ロータリーゾーン 1A・2・3 のロータリー財団地域セミナーが兵庫県・神戸ポートピアホテルで開催されましたのでご報告させていただきます。当地区からは新保 ARRFC、南雲ガバナーエレクト、室賀ガバナーノミニ、財団委員会からは大竹小委員長他。そして、この日一番活躍されたのが新潟西 RC の大澤力地区クラブ戦略計画委員長です。同氏はグローバル補助金の重点分野「環境」において「山火事・森林火災を未然に防ぐ「ドイ・ジョラケ丘陵の環境保護」について発表されました。日本では環境分野のグローバル補助金承認の事例は少なく、新潟西 RC の取り組みは全国から注目されている事業です。30 分間のスピーチでしたがパワーポイントでわかりやすく説明され、約 200 名の参加者の前で感動的なプロジェクト報告が行われました。これからもプロジェクトの取り組みが継続されますが、補助金による成果に大きな期待が寄せられたことをご報告させていただきます。その他、ロータリー財団管理委員会委員の三木明氏より「TRF 管理委員会報告とロータリー財団の現状」、「ローターアクトクラブによる世界初のグローバル補助金プロジェクト」の実例として大阪東 RAC の報告、「ロータリーカードの加入状況」、「End Polio Now の現状とポリオプラス・ソサエティの推進」などなど内容豊かなセミナーとなりました。特に、世界初の大阪東 RAC によるグローバル補助金プロジェクト「モンゴル図書館」設立は成功に向けての 4 つのポイントが発表されました。ポイントは①「実施国の元米山奨学生の支援」、②「地区の献身的フォロー」③「親クラブの情熱的支援」④RAC の「OB・OG の繋がり」により、プロジェクトのインパクトをアピールし、TRF から世界初で承認されたとの事です。

文責：補助金委員会 武田 真



第 2560 地区 2023-24 年度 10 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
				2023年 7月1日	10月末 会員数	うち女性 増減	
第1分區(9クラブ)				378	382	37	4
		4	31.5%	89	89	1	0
		3	17.9%	39	39	9	0
		3	28.1%	31	32	1	1
		4	100.0%	48	48	3	0
		4	21.6%	38	37	3	-1
		4	16.0%	25	25	2	0
		3	4.2%	45	48	5	3
		4	52.8%	37	36	7	-1
		3	21.4%	26	28	6	2
第2分區(9クラブ)				436	450	31	14
		5	30.6%	78	85	3	7
		4	16.1%	61	61	7	0
		4	33.1%	114	118	8	4
		1	80.0%	5	5	0	0
		4	47.6%	40	42	2	2
		5	13.9%	36	36	3	0
		4	35.1%	37	37	1	0
		4	30.4%	22	23	0	1
		3	48.8%	43	43	7	0
第3分區(5クラブ)				91	92	5	1
		4	20.0%	15	15	1	0
		4	46.2%	12	13	0	1
		4	28.1%	32	32	1	0
		4	38.5%	26	26	3	0
		3	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)				364	367	29	3
		4	8.9%	53	56	0	3
		3	7.5%	39	40	3	1
		4	6.9%	29	29	4	0
		4	17.1%	42	40	2	-2
		4	71.0%	31	32	4	1
		3	5.0%	20	20	1	0
		3	3.6%	28	26	3	-2
		4	9.4%	52	53	3	1
		3	6.9%	27	28	3	1
		4	14.3%	6	6	2	0
		3	18.9%	37	37	4	0

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
				2023年 7月1日	10月末 会員数	うち女性 増減	
第5分區(7クラブ)				287	301	30	14
		4	68.8%	46	48	4	2
		4	2.2%	42	46	0	4
		3	23.7%	54	59	8	5
		3	19.5%	40	40	2	0
		4	14.3%	21	21	1	0
		3	19.6%	48	51	4	3
		4	25.7%	36	36	11	0
第6分區(6クラブ)				125	124	11	-1
		3	32.3%	31	31	4	0
		3	10.3%	31	29	2	-2
		4	15.4%	26	26	3	0
		3	0.0%	15	15	1	0
		4	20.0%	14	15	1	1
		4	12.5%	8	8	0	0
第7分區(7クラブ)				309	312	21	3
		3	32.4%	68	71	4	3
		3	36.1%	72	72	6	0
		3	12.1%	32	33	1	1
		4	95.2%	43	42	3	-1
		4	63.9%	36	36	3	0
		4	56.0%	25	25	0	0
		3	81.8%	33	33	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,990 人
10月末会員数	2,028 人
女性会員数	164 人
純増減会員数	38 人
My Rotaryアカウント登録率	29.1 %

地区主要行事予定

2023年11月27日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2023年 (R5) 米山年度	12月	疾病予防と治療月間			
		2	(土)	南雲GE激励会・地区諮問委員会・第1回地区運営会議	長岡グランドホテル
		3	(日)	全国危機管理委員長会議・青少年交換委員長会議	AP日本橋
		9	(土)	南雲年度クラブ会長幹事研修	ニューオータニ長岡
		17	(日)	インターアクト献血奉仕活動	新潟市・上越市
		23	(土)	ROTEX会議・第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	燕三条地場産業振興センター
※地区事務所・米山G事務所・南雲GE事務所は 12/28 (木)から1/4 (木)まで年末年始休暇です。					
2024年 (R6) 米山年度	1月	職業奉仕月間			
		7~11	(日~木)	国際協議会	オーランド(米国フロリダ州)
		13	(土)	2024学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
		27	(土)	国際協議会報告・地区チーム研修セミナー・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	長岡グランドホテル
		28	(日)	全国RA委員長・地区代表合同会議	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟万代	大平 穰	2023.10.02	ミサワホーム北越(株)	取締役執行役員(住宅事業部長)	総合建築業
村上岩船	猪又 孝明	2023.10.16	(株)リリーフセキュリティ村上営業所	所長	警備業
長岡東	嘉藤 亮	2023.10.18	大和証券(株)長岡支店	支店長	証券業
村松	川口 大介	2023.11.01	(株)エコガード新潟	代表取締役専務	廃棄物処理業
村上	齋藤 広樹	2023.11.02	(有)サムズオート村上	代表取締役	自動車販売
長岡東	菊地 恭平	2023.11.08	(株)菊地組	代表取締役社長	建設業

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
吉田	梨本 勝	2023.10.17	(有)米納津屋	代表取締役会長	菓子製造販売業	1991-92年度クラブ会長 2006-07年度地区拡大増強委員
三条南	広岡 豊樹	2023.10.28	(株)松木屋	代表取締役	日本料理	





### 第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 中里 公造（川口モーニング RC）

私は現在2年目のARC(ロータリーコーディネーター補佐)を務めています。

毎月のコーディネーターニュース(以降 C ニュース)を読むのが楽しみです、他の地域リーダーの皆さんの考え方等はとても参考になっています。

さて毎月発行のCニュース、必ず読んでいる方はどれくらいの比率だと思われますか？

と言いますのは、先日地区内のある会合でCニュースのことが話題になりました。しかし、ガバナー月信を通して毎月読んでいると答えた方は、エッと驚くほど少ない人数でした。

地域リーダーの皆さんがそれぞれの担当の立場での考えや事例発表等々、さらには日本のロータリーの現状や進むべき方向性を感じることが出来るのがCニュースであると思います。

Cニュースの内容を参考にして地区やクラブの活動にも是非とも参考にしていただきたいと思います。

ロータリーの情報を得る手段は、以前と比べると格段に増えました。皆さんも様々なジャンルから最新の情報や歴史に関する多くの情報等を得ていると思います。

「ロータリーの友」誌も重要な情報源ですが、残念ながら読書率となるとかなり低いといわれています。

ロータリーの友の宣伝をするわけではありませんが、「アーカイブ」として検索機能があることをご存知でしょうか？何か疑問に思ったことを調べるにはとても良い機能ですし、私もよく利用しています。今まで以上に友誌の活用方法が増えたと思っています。

ARCとしてもMy ROTARYの活用により、その時々ロータリーの会員数の推移等の資料作りは容易になりました。しかし世界や日本の会員数の年度ごとの資料作成には、数字の正確性を含めて結構苦勞された方もいらっしゃるかと思います。そういった点でも友誌を活用しましょう。ロータリーの歴史を知る上でも大変貴重な地域雑誌であると思います。そしてCニュースも毎月読んでください。

ARCとして、第1, 2, 3地域合同で4月に開催されるクラブ活性化セミナーやGETS、ロータリー研究会等々に参加して、RIの最新情報を得たり、日本のロータリーリーダーの皆さんから貴重な情報を得たり、様々な発表等を聞く機会はとても参考になっています。地区内の会員さんにも是非聞いてほしいと思う企画が満載です。

クラブ活性化セミナーは、地区の主な役職についている方は参加できます。是非来春のクラブ活性化セミナーに参加して、ロータリーを楽しく学びませんか？



## 「ロータリーの魅力」



### 第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 田中 久夫（高崎 RC）

1 ロータリーに入って四半世紀以上が経つが、一つの疑問に引っかかって最近まで悶々と過ごしてきた。

答えの輪郭はボンヤリと見えるのだが、どうやっても焦点が合わず、まるで恋する女性に愛を告げても、一向に色良い返事がもらえない不良中年のごとく馬齢ばかりを重ねてきた…。ところが先日、不意に一陣の疾風が吹いてこの恋患いの霧が晴れたのである。

「そうか、わかったぞ！」

と思わず叫んでみたものの、それは改まって他人様に報告するほどのものでもない。それでも、長年の隔靴搔痒から解放されて、いま私には愛する「ロータリー」の素顔が良く見える。

2 順を追って説明すると、私は以前から「ロータリーの魅力」についての明確な答えを求めていた。自分は何のためにロータリーに入ったのか？ ロータリーを続ける自分はいったい何を求めているのか？ そういった疑問の答えを探してきた。

ロータリーの魅力について、「それはロータリーによって「人生の目的」を知ることが出来るからだ」と言う人がいる。「ロータリーは人生の目的を知るための自分磨きの旅を経験することが出来る場所であり、そこに魅力がある」と言うのだ。果たして、「人生の目的」すなわち「人が生きる意味」とは何か？

これまで多くの先覚者たちがそれを説いてきた。新渡戸稲造や内村鑑三といったクリスチャンが言う人生の目的は、「品格の完成」にあるという。仏教・真言宗の教えでは、人生の目的とは「心を磨くこと」だと言う。経営の神様と称された故・稲盛和夫氏はその著書のなかで、人生の目的とは「心を磨き、魂を高めること」であり、「それは生きる目的、人生の意義そのもの」だと言い切る。

ここまではいい。しかし、これらの言い方はちょっと難しい。「品格の完成」だって？ 意味は分かるものの、もっとストレートに人生の目的を表現できないか、それを探してきた。

3 あるとき、何気なくTVの音楽番組をみていると、そこには私と同世代の女性シンガー松〇谷〇実さんが出ていた。

MCが彼女に聞いた。

「貴女の人生の目的は？」

彼女は言った。

「人生をエレガントにおくることよ」

その瞬間、私の頭のなかにイナヅマが走った。

「そうだ、これだ！」

本物のアーティストには、難問を一言で解き伏せる破壊力がある。だから、彼女の作った曲は売れるのだ。

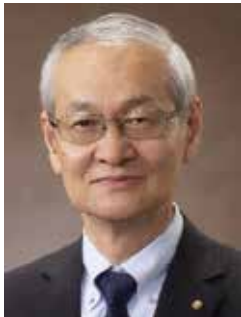
4 ロータリーは、自分の人生をエレガントにするためのサプリメントだったのだ。しかし、その用法には注意が必要だ。栄養補給のため適量ならばOKだが、過ぎればかえって毒にもなる…。依存し過ぎて離れられなくなる人も出てくる。私がそうだ。

ロータリーのこの魅力をロータリアン以外の人たちに伝えることが、私たち RPIC、ARPIC のお役目であるのかも知れない。多少、他人様の人生に対して危険を含んでいるかも知れないが…。





“なぜロータリー財団へ寄付するのですか”



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター 飯村 慎一（宇都宮90RC）

財団とは一般的に、“一定の目的のもとに寄付された「財産」の集まり”と言われ、公益を目的として管理運営されている組織です。その目的に賛同した方々が寄付することにより成り立つ組織で、賛同が無ければ、又、寄付が無ければ財団は存在しなくなります。因みに、国際ロータリー(RI)は、寄付ではなく会費(人頭分担金)を徴収し組織運営しており、会費未納クラブはRIの会員として認められません。

ロータリー財団の目的は、何でしょうか。財団は、健康・教育・環境・貧困のキーワードの下、多様な奉仕活動に取り組みながら世界平和を目指しております(ロータリー財団章典)。その財団の奉仕活動は幅広い分野で展開されておりますが、ここでは代表的な活動のポリオプラスについて4つの視点から考えてみましょう。

(1)寄付はロータリアンの貴重な財産です。ポリオプラスへいくら支出しましたか。

・2021-22年度の財団支出(3億3,040万ドル)の内、ポリオプラスへの支出は1億5,000万ドルで全体の46%で一番多く、重点的に配分しております。グローバル補助金が22%、地区補助金が8%と続きます。

(2)そのポリオプラスへの支出金は、どの様に使われていますか。

①ワクチン接種への意識向上(RAISING AWARENESS)へ36% ②こどもへのワクチン接種へ35% ③ワクチン開発へ12% ④ポリオの検知&監視へ9%などです。①については、地域により接種へのためらいや誤情報があり、地域の宗教家や有力者との良好な関係を構築することが重要ですので、その接種への意識向上へ最も多くの資金が配分され、全体の36%(5,360万ドル)が使われています(“ROTARY”誌, 2022年10月号)。

(3)ポリオプラスへの支援の成果は挙がっていますか。

・1988年に125ヶ国で35万発症例が2022年には30症例で2ヶ国にまで減少しました。この34年間で、もしポリオワクチンを接種していなければ、累積で約2,000万症例が発症していたであろうと関係機関では推察しており、結果的にはこれだけ多くの発症例を回避できました(出典:WHO/CDC)。

(4)世界ポリオ根絶のパートナーはどなたですか。

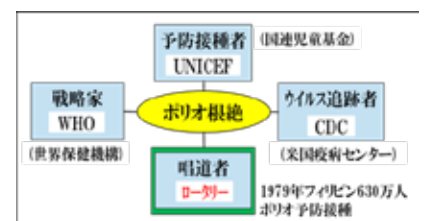
・“急速な変化の世界で、単独で何かをすることは不可能で、パートナーを組むことが大切です。その成功条件は、共通の“ビジョン”と補完的な“専門知識”が必要で、各パートナーが明確な役割と責務を担っていくことが重要です”(ジョン・ヒューコ事務総長, 2023年1月, オランダ, フロリダ州)。

・パートナーは大変重要な概念であり、私達が取り組んでいるポリオ根絶の代表的なパートナーは、①予防接種者:

UNICEF(国連児童基金) ②ウイルス追跡者: CDC(米国疫病対策センター) ③戦略家: WHO(世界保健機関) ④唱道者: ROTARY(国際ロータリー)です。ロータリーは、1979年に初めてフィリピンでポリオ予防接種をスタートさせ、その後、現在まで推進してきており、パートナーの中での唱道者として重要な役割を占めております。

“なぜ寄付するのですか”。子供たちの自由に動き回れる人生と命を守ってきた先人

ロータリアンの大きな志を受け継ぎ、ポリオ根絶のため寄付を致します。これからも更に財団の多様な奉仕活動の「見える化」に励んでまいりますので、引き続き、ロータリー財団へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。





## 「2024 シンガポール国際大会」に参加しましょう！



シンガポール国際大会推進チームメンバー兼推進コーディネーター 服部 陽子（東京広尾 RC）

みなさんは、これまでに国際大会に参加されたことがありますか？まだ経験がないという方も、既に何回もあるという方も、ぜひ今年度は国際大会に参加なさって、国際大会ならではの醍醐味を味わっていただきたいと思います。国際大会は、友情と学びが融合し、インスピレーションが生まれる舞台と言われています。

今年度の国際大会は2024年5月25日より29日まで常夏の国、シンガポールで開催されます。シンガポールは日本から飛行時間が6～7時間、直行便も多く、時差も1時間と参加しやすい開催地です。本会議はナショナル・スタジアムで、分科会やイベントなどはシンガポール人気スポットのマリーナベイ・サンズで行われます。

国際大会に参加してみてロータリー観が変わったという話を時々耳にしますが、私も初めて参加した2004年の大阪大会の感動は今も強く印象に残っています。昨年度のメルボルン国際大会に私の所属クラブの入会2年、クラブで最年少である27歳の会員が参加しました。彼の終始目を輝かせている姿に、こちらまでわくわくしてきて、地区のガバナーナイトでは一緒にダンスを踊り楽しいひと時を過ごしました。入会間もないこの会員にとって、例会とはまた別のロータリーの魅力を存分に感じる事ができた貴重な体験であったと思います。

さて、5月26日の朝には「日本人親善朝食会」がラッフルズコンベンションセンターで開催され、ゴードン・マッキナリー RI 会長もご出席の予定です。続いては恒例の国旗入場に始まる開会式です。RI 会長はじめたくさんの魅力的なスピーチやエンターテインメントが繰り広げられます。翌日からの本会議や分科会では DEI やメンタルヘルスなど今知りたいテーマが扱われ、世界の会員の声を聞くことができます。

シンガポールは会場の外に出たの楽しみも豊富な土地です。動物園(マンダイズー)でのナイトサファリ、シンガポール初の世界遺産に登録されたシンガポール植物園、サントーサ島のビーチやテーマパーク、屋台で楽しむシンガポールフード...

ロータリーの繋がりと広がりを感じることのできるロータリー最大のイベント、国際大会への皆様のご参加をお待ちしております！



国際大会のちらし

日本人親善朝食会のちらし







## 秋の外国人叙勲 米山学友に旭日中綬章



旭日中綬章

リン マンレイ  
林 曼麗さん (1981-83・1996/東京保谷RC)



2006年、女性初の故宮博物院院長に就任。退任後、大学教授として教鞭をとる傍ら、大学付属美術館の活動や日本での講演など精力的に活動。2018年、日本との友好親善関係増進に貢献した個人や団体に与える外務大臣表彰受賞。現在、台北教育大学芸術の造形デザイン学部名誉教授。

(写真：2019年 米山梅吉記念館 50周年式典時撮影)

## 1. 米山学友が紺綬褒章を受章 後輩たちへの言葉

中国出身の米山学友、  
周 順圭さん (1962-64 :  
東京西RC、1964-65 &  
66-68 : 東京世田谷RC)  
が8月26日付で内閣府から紺綬褒章を授与されたことを受け、11月9日、都内で褒章伝達式が行われました。昨年当会へ50万ドルをご寄付いただ



褒章と木杯を受け取った周さん(左)と愛子夫人

いたことにより、当会から内閣府へ申請。これが正式に認められ、今回の受章に至りました。

伝達式には、周さんと愛子夫人、当会の小沢一彦名誉理事長、若林紀男理事長、相澤光春副理事長、第2750地区の粕谷啓之米山記念奨学委員長、東京西RCの富田和宏幹事、東京世田谷RCの松本宜春会長、洪崇富幹事、矢作千鶴子直前会長、大友敬元会長、東京大学ニューヨー

クオフィスの増山正晴理事長が臨席されました。

小沢名誉理事長から紺綬褒章と木杯を受け取った周さんは、「米山奨学金には本当に助けられました。そのお返しは当然のことだと思っていましたので、このような賞をいただくとは思っておら

ず、とても驚きました。世間では後期高齢者といわれる87歳になりましたが、私は常に後期貢献者でありたいと思っています」と、受章を喜ばれました。現役奨学生・学友らに向けては、「奨学金としていただいたお金は大切に使い、たくさん勉強してほしいです。卒業後は、その力を社会に還元することで、社会に貢献してほしいです」と、後輩たちにエールを送りました。

## 2. 異なる景色から見る米山奨学事業の意義

9月4日、ベトナム出身の米山学友で、さいたま大空RC直前会長のチャン コン トゥアンさん (2008-10/幸手RC) が、大宮シティRCにて卓話を行いました。



卓話するチャンさん

母国の若い人材を日本に送り出し、ベトナムの経済や教育水準向上を目指すジャパンオープンコンソーシアム協同組合で専務理事を務めるチャンさん。幸手RCでは素敵な方々に出会ったことで人生観が変わり、誰かの役に立つことの素晴らしさを体感したそうで

す。自身が会員になったきっかけは、同胞の先輩から「米山学友らで構成されるロータリークラブがある」と紹介されたこと。憧れだったロータリー会員として活動する中、「当時はありがたさを

強く感じていましたが、会員として改めてこの事業の意義を考えると、教育、親睦、経済援助を通じて世界平和、国際親善、人材育成など、まさにロータリーの目的を体現するこの上ない事業だと思います」と語りました。

### 3. 2024 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2024学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校563キャンパス（地区を超えた指定校の重複含む。前年度569キャンパス）から1,202人（1,334人）が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国52.1%（54.6%）、ベトナム13.8%（13.6%）、韓国10.3%（9.0%）、インドネシア3.0%（2.9%）、次

いでネパール、モンゴル、マレーシア、台湾の順となっています。課程別の応募状況は、博士課程19.2%（17.5%）、修士課程34.3%（34.2%）、学部課程43.2%（44.6%）となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、9地区16校から計32人の応募がありました。

### 4. 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝 —

前年同期比

+ 4.4%

普 - 1.3% 特 + 7.8%

10月までの寄付金は、前年同期と比べて4.4%増（普通寄付金：1.3%減、特別寄付金：7.8%増）、約2,540万円の増加となりました。

10月末時点で累計額が6億円を超えたのは四半世紀ぶりとなりました。10月の米山月間にご協力をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。今年も残り2か月を切りました。引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 5. 支援に感謝 ウクライナ学友が来日講演

ウクライナ出身の米山学友、セゾネンコ テチアナさん（2017-19／大阪城南RC）がホームカミング制度で来日し、世話クラブが主催する「ウクライナ支援講演」（10月27日開催、協賛：吹田RC）で、侵攻後の生活や母国の未来について語りました。講演会には、国際ロータリー第2660地区延原健二ガバナーやロータリー会員・家族、米山学友などオンラインを含む300人弱が参加しました。

テチアナさんは大阪大学大学院で博士号を取得後、母国ウクライナに帰国。製剤化学者として勤務する日々が一変したのは昨年2月24日の朝でした。

「戦争が始まった。皆、仕事には来なくて良い。自分で安全を確保するように」。上司からの



支援への感謝を述べるテチアナさん（中央）

指示でした。その日以降、テチアナさんは仲間とともに、食料や医薬品、おむつなどの物資を届けるなどボランティアに従事。大阪城南RCでは彼女の苦境を案じ、緊急支援金を集めて送った

ところ、テチアナさんは自分や家族のためではなく、すべて支援物資の購入や輸送、困窮家族の援助に充てていたことがわかりました。「自分も苦しいはずなのに、われわれのお金を一番有効なことに使いたいという気持ちで使ってくれた。すごい子やなど。だったら、もっと支援の輪を広げてあげたい」と、今回の企画の発案者である西谷雅之会員は語ります。

この日の支援講演に寄せられた義援金はなんと4,027,350円。使途については随時、大阪城南RCのHPで報告されるということです。

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は 11 月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は 11 月 30 日です。当会ホームページのメニュー、

寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

特別寄付金については来年 1 月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請は不要です。